

フェリス女学院大学出張授業メニュー 国際交流学部 (2022年度)

国際的な話題 (地理・歴史および総合学習向け)

講座名	講師名	授業概要	対象学年
「国際問題を知ること」は良い結果を生むか	古内 洋平	授業をしていると「国際問題を解決するためには、まずは私たちが問題を知ることが大事だと感じました」という感想をよくもらいます。皆さんが国際問題を知ること、世界はどのように変わるのでしょうか？私たちと世界のつながりを考えます。	高1～3
スタバのコーヒーから見えてくるグローバル化	ベンヤミン ミドルトン	コーヒーが嫌いな人でも冷淡な人でもスタバを意識する時代にはなったが、抑々日本に何故スタバ店が多くあるのか？現代人にとって何故コーヒーが必要不可欠な飲み物になったのか？社会学の視点からスタバとグローバル化の関係を考えよう。	
嗜好品のグローバル・ヒストリー	空 由佳子	私たちに身近なチョコレートやコーヒーなどの嗜好品は、大航海時代に世界の一体化の原動力になりました。しかし、奴隷貿易やモノカルチャーは、現代につながる貧困や環境破壊の一因となっています。嗜好品の歴史から、現在の地球が抱える問題を考えてみましょう。	
環境にも人にも優しいライフスタイルの実践	高雄 綾子	スマホやグルメや旅行を楽しむ豊かで便利な生活は、環境破壊の上に成り立っています。でも生活の質を落とさずに、環境にも人にも優しいライフスタイルを実現することはできるのでしょうか？ドイツの例から、持続可能な未来のための文化や社会を作っていく方法を考えます。	
東アジアの分断国家	新城 道彦	朝鮮半島には大韓民国(韓国)と朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)という2つの国が存在します。両国を分かつ北緯38度の境界線はいつ誰が引き、なぜ現在の形で固定化したのでしょうか。当時の世界情勢を視野に入れた概観します。	
グローバル化を考える	杉之原 真子	グローバル化に対する反発が各国で高まっているといわれますが、そもそもグローバル化とは何で、どのようなプラス面とマイナス面があるのでしょうか？グローバル化のプラス面を生かすためには国際的な協力が必要であることを、身近な事例を使って考えます。	
島が沈む？地球温暖化による南太平洋諸国の危機	佐藤 輝	現地の写真や映像をご覧いただきながら、一人一人の心がけだけでなく、企業や先進国がどのように対策に取り組んでいるのかを検証してみます。この問題で最も弱い立場にある南太平洋諸国の未来についていっしょに考えてくださいませんか？	
インドの人々と発展	木曾 順子	13億の人口を抱え、多様な民族・宗教・社会階層の人々が住むインドは、まさに開発途上「大国」。近年は、急速な経済成長でも注目されています。インド社会・経済の実相に触れることで、開発途上国の発展と貧困を考えるきっかけにしてください。	
権利をもつ権利	矢野 久美子	おもなテキストとして政治哲学者ハンナ・アーレントのエッセイ「われら難民」を読みとくしながら、所属する共同体や行き場、居場所、生きる場所を失った「難民」が置かれた政治的・精神的状況について想像し、考えます。	
ヨーロッパの危機：先進国の苦悩	上原 良子	現在ヨーロッパは少子高齢化、移民・難民問題、経済の停滞、格差の拡大等、様々な危機に直面していますが、これらは先進国に共通する問題でもあります。ヨーロッパの経験を通して、明日の日本の課題も考えてみましょう。	
国境を越える環境の不正	知足 章宏	現代世界の環境問題をローカル、グローバルな視野から捉えると、様々な矛盾が見えてきます。深刻な環境汚染被害を受ける地域・人々は、なぜ豊かな国の裕福な人々ではなく、開発途上国の貧困地域の人々なのでしょう。この授業では、この「不正」の要因と実態を考えます。	
20世紀初頭ヨーロッパにおける芸術と服飾	朝倉 三枝	ヨーロッパで前衛的な芸術運動が次々に台頭した19世紀末から20世紀初頭に、ファッションと芸術は深く分かちがたい結びつきを持っていました。芸術との結びつきがどのように創造的な衣服や美意識を生み出したかを考えてみましょう。	
民主主義の精神とキリスト教	徳田 信	民主主義とは何でしょうか。それは多数決で物事を決定する手段に留まりません。意見を異にする他者にじっくり耳を傾けようとする、一つの精神(センス)でもあります。その精神の源を、近代イギリスのキリスト教社会に探ります。	
「多文化主義」時代のラテンアメリカ	遠藤 健太	ラテンアメリカ諸国では長らく「我々はみな等しく混血」という均質的な国民イメージが支配的でしたが、いまは多くの国で「多文化主義」が掲げられています。こうした変化はなぜ生じたのでしょうか。この地域の現代史のダイナミズムを、人種・民族・文化の多様性に焦点を当ててお話しします。	
データの集め方、見方、考え方	渡邊 弘己	日々の暮らしの中で、いろいろな数値やグラフを見る機会があると思います。皆さんは数値やグラフに騙されていないですか？この授業では、データに騙されないようにするにはどうすればよいか、また、データはどのように集めれば良いかについて考えます。	

外国文学、外国語 (語学・ 国際理解向け)

講座名	講師名	授業概要	対象学年
韓国語と韓国文化の不思議 - 女性なのに、なぜ名前に「男」がつくの？	金香男	他者への理解の第一歩は、「相手の名前を正しく呼ぶ」ことから始まります。世界を見渡すと、名前の成り立ちはさまざまですが、その違いはどこから来るのでしょうか。名前という身近な事例から韓国社会について考えてみましょう。	高1～3
スペイン語の世界への招待： HOLA！	ヒガ,マルセーロ	挨拶は大事です。スペイン語圏の人にスペイン語で正しい発音で挨拶をしてみると、世界が変わるかも知れません。短い時間に、基本的な挨拶や自己紹介の仕方を覚えてみませんか。	
ドイツの大都市とモダンガール ～若いってすばらしい？～	田丸 理砂	1920～1930年代、大都市へと変貌を遂げたドイツ、ベルリンで「モダンガール現象」が起きます。マスメディアの発展とともに登場した女性作家たちの作品から、モダンガールと呼ばれた女性たちのイメージについて考えていきます。	
イマジネーションから考える未来社会	上原 かおり	近代化の波の中で、新しい科学思想・技術によって開かれた可能性を描くSF文学が誕生しました。その虚構世界の事柄はファクトではないものの、地球規模の未来を思索する糸口を示してきました。世界のSFを通して、人類の未来について考えてみましょう。	

社会問題、日本の国際化 (日本史・ 世界史・ 現代社会向け)

講座名	講師名	授業概要	対象学年
なぜ日本の経済は低迷から抜け出せないのか？	齊藤 直	2010年代前半頃から、雇用が改善するなど、日本の経済には明るい兆しも見られるようになりました。しかし、全体としてみれば、日本の経済が低迷から抜け出したとはいええない状況にあります。なぜ日本の経済は低迷から抜け出せないのかを学び、どうすればよいかを考えてみましょう。	高1～3
横浜学の“世界”	大西 比呂志	近代日本の国際交流の原点となった横浜を通じて、日本と世界の多様なつながりを学びます。横浜は山下・山手の居留地、中華街を中心に、多様な外国人が住んだ国際都市でした。彼らはなぜ、どのように日本に来て横浜で暮らしたのか。そしてどこへ行ったのか。世界に飛び出す前に、足もとの世界を知りましょう。	
日本人の習慣の奥に見える文化と歴史	寛 雅博	「文化」は、美術品やお寺、文学作品や庭ではなく、それらを生み出した人々たちの心のはたらき（価値観、行動様式）を意味します。この講義は、学校生活の中に「日本文化」の基本的性格を見出そうとする試みです。	
中国化する日本か？日本化する中国か？～中国社会の歴史的变化と日本～	泉谷 陽子	数年前に『中国化する日本』という本が話題になりました。現代の日本は「中国化」しつつあるという内容です。伝統社会の性格は日中で対照的でしたが、歴史を振り返れば似かよった性格をもつ時期もありました。両国の社会について歴史的に考えてみましょう。	
ジェンダー法学へようこそ - 愛と暴力の距離は遠いのか？	山本 千晶	DVやデートDVなど、近年、親密な関係性における暴力の問題が注目されています。「愛し合っている(た)のになぜ暴力をふるうの？」と不思議に思いますか？それでは、近代における家族制度を読み解きながら、DVが生じる背景やそのメカニズムについて一緒に考えてみましょう。	